

## ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2019年1月7日

【2018年12月22日～2019年1月4日までの推移】

### 【1】先週の回顧

ブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに上昇しました。また、2年国債金利は低下しました。1月1日（現地、以下同様）に発足したボルソナロ政権への期待から、ブラジル・レアルは対米ドルで大幅上昇となりました。

ボルソナロ大統領が就任演説にて低迷する経済を構造改革で立て直すことを強調したことが好感されました。また、ボルソナロ大統領は、2月に行われる下院議長選挙にて現議長のロドリゴ・マイア氏を支持する意向を示しました。これによって年金改革が実行される可能性が高まるとの期待が投資家間で広がったことも、ブラジル・レアル上昇の追い風となりました。

経済指標に関しては、11月の基礎的財政収支や純債務対GDP（国内総生産）比、12月の各種PMI（購買担当者指数）などの発表がありました。基礎的財政収支や純債務対GDP比は概ね市場予想通りの結果となり、材料視されませんでした。PMIについては製造業が前月より小幅に下落したものの、サービス業とコンポジット（製造業とサービス業の複合）は上昇しました。現在、PMIは3指標すべてで景況感の改善と悪化の分岐点である50を上回っており、ブラジル経済が回復傾向にあることを示唆しています。

### 【2】今週の見通し

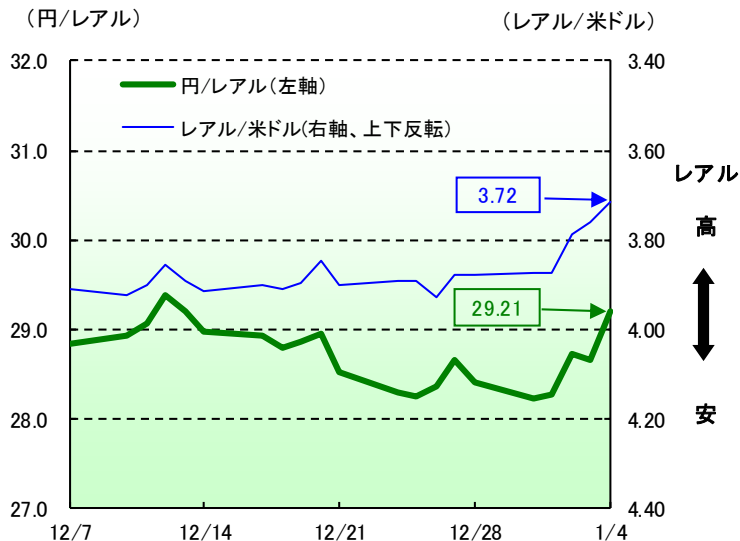
今週は、IPCAインフレ率や鉱工業生産などの経済指標の発表が予定されています。

足元ブラジルの金融市場は、ブラジル・レアル上昇・ブラジル金利低下に加え、ブラジル株も上昇しており、ボルソナロ政権発足へのご祝儀相場の様相を呈しています。また、1日には法定最低賃金の引き上げが行われましたが、前テメル政権下で承認されていた上げ幅よりも低い上げ幅であったことから、こちらも財政健全化の視点で市場では好感視されています。

一方、市場の注目が集まる年金改革については、議会の始まる2月以降に着手されると見られており、今後は改革の進展を市場が見極める展開になっていくと考えます。

### 【ブラジル・レアル 為替推移】

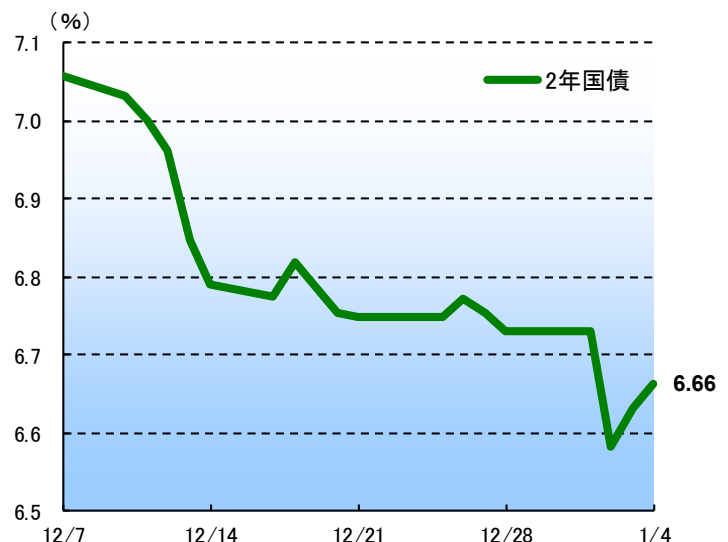
（2018年12月7日～2019年1月4日）



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

### 【ブラジル 金利推移】

（2018年12月7日～2019年1月4日）



（出所：ブルームバーグより大和投資信託作成）

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management